

気軽に文化講座「コミュニティ・カレッジ in 内子」 令和8年度 後期カリキュラム

9月から2月までの講座案内

愛媛大学地域共創研究センター/気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子懇話会/内子町教育委員会 共催プロジェクト
会場はいずれも内子自治センターですが、ライブ配信による聴講を希望される方は、Zoomを利用して聴講できます。

詳しくは、うら面をご覧ください。

開催月	講 座 内 容	講 師
第5回 9月24日(木) 19:00~20:30	昭和「100年」、そして未来へ ー内子町小田の古写真を調査して考えたことー 令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)の改元から満100年を迎える「昭和100年」の年です。「昭和」は、戦争と復興、そして高度経済成長へと向かう激動の時代でした。昭和の記憶や先人の軌跡に触れることは、昭和生まれの世代にとっても、平成生まれの世代にとっても「今」を考えるうえで重要であり、新たな発見の中に未来への鍵があります。内子町小田での古写真調査を踏まえながら、この記念すべき年に「昭和」について語り合ってみましょう。	井口 梓 愛媛大学社会共創学部 地域共創研究センター センター長・教授 (学生：定村珂音・平井完樹 田山晴翔) 専門：文化資源マネジメント
第6回 10月22日(木) 19:00~20:30	環境に優しいを考える ーはじめてのライフサイクルアセスメントー 私たちが生活する中で「環境に優しい」という言葉があふれています。たとえば、エコカーとして知られる電気自動車は本当に環境に優しい製品といえるのでしょうか？この講座では、世界的に注目を集める「ライフサイクルアセスメント」を使って、この疑問について一緒に考えます。ライフサイクルアセスメントを学ぶことで、買い物などの私たちの生活行動の背景に潜む地球温暖化を中心とした環境問題の存在に気づくことができるようになります。	布施 正暁 愛媛大学社会共創学部 教授 専門：土木計画学・ 土木環境システム
第7回 11月26日(木) 17:30~19:30 講座後、懇親会実施 参加費 1,000円 (学生 500円)	シンポジウム 「ひらかれる地域、ひろがる世界 ー国際協力・国際連携・国際交流のこれからー	小林 修 愛媛大学国際連携推進機構 副機構長・教授 専門：環境ESD 島上 宗子 愛媛大学国際連携推進機構 教授 専門：東南アジア地域研究 笠松 浩樹 愛媛大学社会共創学部 (地域共創研究センター 兼任) 准教授 専門：農山漁村振興
第8回 12月17日(木) 19:00~20:30	社会参加できる街環境整備は健康寿命を延伸する 高齢社会では要介護人口が増加します。要介護の原因は、脳卒中、認知症、高齢虚弱です。では、健康寿命を延伸する道筋はないのでしょうか。あります。脳卒中、認知症、高齢虚弱を予防すればいいのです。そのためには、高齢者の活動と場所の地域支援が必要です。そして、基本は「楽しく認知症は予防できず」です。サプリでは予防できません。50歳以降は筋肉を維持する習慣が、脳筋連関によるマイオカインを通して、骨と脳を健康に保ちます。95歳で非介護、80歳で8割就労を目指せます。攻めのリハ現場からの健康寿命の延伸の道筋と、社会参加することで健康長寿を楽しめる街づくりのヒントを内子町にお届けいたします。	酒向 正春 ねりま健育会病院院長・ ライフサポートねりま管理者 専門：脳外科・脳卒中・リハビリテーション・認知症学

第9回 1月21日(木) 19:00~20:30	内子座111年の歴史に学ぶ～藝於遊 内子座保存修理事業 素屋根がかかり、工事シートにすっぽりと囲われた内子座。令和の保存修理工事に入って3年目になります。平成27年(2015)に重要文化財の指定を受け、令和9年(2027)2月には創建から111年を迎える内子座。建設当時の人々に思いをはせながら今一度その歩んだ道のりを振り返るとともに、保存修理工事の内容や保存修理事業の全体像などについてお話しし、参加者のみなさんと学び、思いを共有する時間になればと思います。	多比良 雅美 内子町 町並・地域振興課 主幹兼課長補佐
第10回 2月4日(木) 18:00~19:30	私たちの探究活動 — “地域” に学び、地域 “と” 学ぶ — 伝統文化を大切にする内子町。ここには、私たちが自ら学び、成長できる環境があります。内子高校では、「総合的な探究の時間」に、生徒全員が地域の魅力に触れ、地域の課題を見つけ、今の自分にできることを考え、挑戦していく活動をしています。 本日は「にぎわいLab」「ふるさとLab」「くらしLab」の3つのLabから、それぞれ1グループずつが、1年間の研究成果を報告します。聞いてくださった地域の皆様と、また新たなつながりや広がりが生まれればと思っています。	内子高等学校
第11回 2月15日(月) 18:00~19:30	受け継ぐものから、創り出すものへ — 地域資源の新たな可能性 — 大洲農業高校では、地域に受け継がれてきた農業や植物などの地域資源に着目し、研究や商品開発、地域との連携を進めています。本講座では、芭蕉をはじめ、ハゼノキなど、これまで本校が取り組んできた地域資源の活用事例を紹介し、地域に眠る資源を新たな価値として未来につなげる可能性について考えます。	大洲農業高等学校

○ 会 場： 内子自治センター 1階 多目的ホール

○ 受 講 料： 年会費2,000円／ご興味のある講座のみの受講も可能(各講座500円) 但し、高校生以下は無料

○ 問い合わせ： 内子町教育委員会 自治・学習課 TEL0893-44-2114

気軽に文化講座コミュニティ・カレッジin内子 懇話会会長 森長照博 TEL0893-44-2079

○ ライブ配信による聴講を希望される方は、受講日前日までに下記のメールアドレスにご連絡ください。

自治・学習課代表メール gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp



コミュニティ・カレッジin内子は、愛媛大学と立ち上げた文化講座です。
身近な文化的な学びの場として、お気軽にご参加ください。